

項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値 (単位)	採血時刻	備 考 (製品名、薬剤名等)
抗 て ん かん 剤	2551 フェノバルビタール 3L175-0000-023-062 3L175-0000-022-062	血清0.5	1	冷蔵	1~2	特定薬剤 治療管理料	ラテックス 凝集法	μg/mL 治療有効濃度 15~40	次回投与直前 (Trough濃度)	複合アレピアチン ヒダントール ノーベルバル フェノバル ルピアル ワコビタール フェノバルビタール
		血漿0.5	19	冷蔵						
	2552 プリミドン 3L190-0000-023-024 3L190-0000-022-024	血清0.3	1	冷蔵	3~5	特定薬剤 治療管理料	EIA法	μg/mL 治療有効濃度 5.0~12.0		プリミドン ※02
		血漿0.3	19	冷蔵						
	2553 フェニトイン 3L185-0000-023-062 3L185-0000-022-062	血清0.5	1	冷蔵	1~2	特定薬剤 治療管理料	ラテックス 凝集法	μg/mL 治療有効濃度 10.0~20.0	経口：次回 投与直前 (Trough濃度) 静注：投与後 2~4時間	複合アレピアチン アレピアチン ヒダントール フェニトイン
		血漿0.5	19	冷蔵						
	2554 カルバマゼピン 3L115-0000-023-062 3L115-0000-022-062	血清0.5	1	冷蔵	1~2	特定薬剤 治療管理料	ラテックス 凝集法	μg/mL 治療有効濃度 4.0~12.0		テグレトール カルバマゼピン
		血漿0.5	19	冷蔵						
	2555 エトスクシミド 3L135-0000-023-024 3L135-0000-022-024	血清0.5	1	冷蔵	3~5	特定薬剤 治療管理料	EIA法	μg/mL 治療有効濃度 40.0~100.0	次回投与直前 (Trough濃度)	ザロンチン エビリオプチマル エトスクシミド ※02
		血漿0.5	19	冷蔵						
	2559 バルプロ酸 3L195-0000-023-062 3L195-0000-022-062	血清0.5	1	冷蔵	1~2	特定薬剤 治療管理料	ラテックス 凝集法	μg/mL 治療有効濃度 50~100		デバケン セレニカ バルプロ酸ナトリウム
		血漿0.5	19	冷蔵						
1117	ゾニサミド 3L210-0000-023-204	血清0.3	1	冷蔵	4~5	特定薬剤 治療管理料	HPLC法	μg/mL 治療有効濃度 10.0~30.0	投与直前 (Trough値)	エクセグラン ゾニサミド ※01
1118	トリメタジオン 3L205-0000-023-210	血清0.5	1	(分離後) 凍結	7~13	特定薬剤 治療管理料	LC-MS/MS	μg/mL 治療有効濃度 300.0~500.0		ミノアレ 活性代謝物であるジ メタジオンを測定 ※01

特定薬剤治療管理料 (71ページ参照)

採血時刻についての注意事項

- 1 TDM (血中薬物濃度モニター) における採血時間です。
- 2 連続投与においては定常状態到達、採血を行ってください。
- 3 中毒時はPeak濃度も測定する必要があります。
- 4 標準的な時間であり、患者状況にあわせて採血するのが望ましいと思われます。



項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要日数	実施料判断料	検査方法	基準値 (単位)	採血時刻	備考 (製品名、薬剤名等)
抗てんかん剤	2557 クロナゼパム 3L125-0000-023-205	血清0.3	1	冷蔵	4~6	特定薬剤治療管理料	LC-MS/MS	ng/mL 治療有効濃度 20~70	次回投与直前 (Trough濃度)	リボトリール ランドセン ※02
	2558 ニトラゼパム 3L165-0000-023-205	血清0.3	1	冷蔵	4~6	特定薬剤治療管理料		ng/mL 治療有効濃度 20~200	次回投与直前 (Trough濃度)	ベンザリン ネルボン ニトラゼパム ※02
	5372 ジアゼパム 3L130-0000-023-204	血清0.5	1	冷蔵	4~6	特定薬剤治療管理料	HPLC法	ng/mL ジアゼパム治療有効濃度 600~1000	次回投与直前 (Trough濃度) ただし、抗てんかん剤として用いる場合	ジアゼパム及び代謝物のN-デスメチルジアゼパムも併せてご報告いたします。セルシン、ホリゾン、ダイアップ、ジアゼパム ※02
	4651 クロバザム 3L145-0000-023-205	血清0.3	1	冷蔵	4~6	特定薬剤治療管理料	LC-MS/MS	ng/mL		クロバザム及び代謝物のデスメチルクロバザムも併せてご報告いたします。マイスタン ※02
	1425 アセタゾラミド 3L950-0000-023-204	血清0.3	1	冷蔵	4~10	特定薬剤治療管理料	HPLC法	μg/mL		ダイアモックス アセタゾラミド ※02
	4867 ガバベンチン 3L215-0000-022-205	血漿0.3	19	冷蔵	4~6	特定薬剤治療管理料	LC-MS/MS	μg/mL		ガバベン ※02
	4945 ラモトリギン 3L220-0000-022-210	血漿0.3	19	(分離後)凍結	4~7	特定薬剤治療管理料	LC-MS/MS	μg/mL 治療有効濃度 トラフ値 2.50~15.00		ラミクタール ラモトリギン ※01
	4997 レベチラセタム 3L230-0000-023-205	血清0.3	1	冷蔵 (4週)	4~5	特定薬剤治療管理料	LC-MS	μg/mL 治療有効濃度 トラフ値 12~46		イーケブラ レベチラセタム ※06
	4960 トピラマート 3L225-0000-023-205	血清0.3	1	冷蔵 (4週)	4~5	特定薬剤治療管理料	LC-MS/MS	μg/mL 治療有効濃度 トラフ値 5~20		トピナ トピラマート ※06
	3465 ラコサミド 3L248-0000-022-205	血漿0.3	13	冷蔵 (4週)	4~5	特定薬剤治療管理料	LC-MS/MS	μg/mL		ビムパット ※06
	3466 ペランパネル 3L245-0000-022-205	血漿0.3	13	冷蔵 (4週)	4~5	特定薬剤治療管理料	LC-MS/MS	μg/mL		フィコンパ ※06
精神神経用剤	3482 リチウム 3L320-0000-023-271	血清0.5	1	冷蔵	2~4	特定薬剤治療管理料	比色法	mEq/L 治療有効濃度 0.40~1.20 (中毒域: 1.50以上)	早期投与前 (Trough濃度)	リーマス 炭酸リチウム ※33
	2463 ハロペリドール 3L300-0000-023-064	血清0.5	1	冷蔵	2~3	特定薬剤治療管理料	金コロイド凝集法	ng/mL 治療有効濃度 3.0~17.0	次回投与直前	ハロペリドール・プロムペリドールは、ほぼ同等の交差反応を示すため、双方を併用されている患者様の測定値は、各々の正確な血中濃度値とは合致しませんので、ご注意ください。 セレネース ハロマンズ ハロペリドール ※01
	5236 プロムペリドール 3L302-0000-023-064	血清0.5	1	冷蔵	3~5	特定薬剤治療管理料	金コロイド凝集法	ng/mL 至適血中濃度 15以下	随時 (ただし採血時刻を一定とする)	ハロペリドール・プロムペリドールは、ほぼ同等の交差反応を示すため、双方を併用されている患者様の測定値は、各々の正確な血中濃度値とは合致しませんので、ご注意ください。 インプロメン プロムペリドール ※02

特定薬剤治療管理料 (71ページ参照)

採血時刻についての注意事項

- 1 TDM (血中薬物濃度モニター) における採血時間です。
- 2 連続投与においては定常状態到達後、採血を行ってください。
- 3 中毒時はPeak濃度も測定する必要があります。
- 4 標準的な時間であり、患者状況にあわせて採血するのが望ましいと思われます。



項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値 (単位)	採血時刻	備 考 (製品名、薬剤名等)
強心剤	ジゴキシン 3L765-0000-023-062 3L765-0000-022-062	血清0.5	1	冷蔵	1~2	特定薬剤 治療管理料	ラテックス 凝集法	ng/mL 治療有効濃度 0.9~2.0	経口：投与後8時間~次回投与直前 (消失相) 静注：投与後4時間~次回投与直前 (消失相)	ジゴキシン ジゴキシン
		血漿0.5	19							
不整脈用剤	5388 リドカイン 3L875-0000-023-024	血清0.3	1	冷蔵	3~5	特定薬剤 治療管理料	EIA法	μg/mL 治療有効濃度 1.2~5.0	静注：投与後2時間 点滴静注：6~12時間	キシロカイン リドカイン ※02
	5387 キニジン 3L900-0000-023-062 3L900-0000-022-062	血清0.4	1	冷蔵	3~9	特定薬剤 治療管理料	EIA法	μg/mL 治療有効濃度 2.0~6.0		キニジン ※02
		血漿0.4	19							
	5451 ジソピラミド 3L865-0000-023-024	血清0.4	1	冷蔵	3~4	特定薬剤 治療管理料	EIA法	μg/mL 治療有効濃度 2.0~5.0	次回投与直前 (Trough濃度)	リスモダン ジソピラミド ※06
	2574 プロカインアミド 3L890-0000-023-024 3L890-0000-022-024	血清0.4	1	冷蔵	3~5	特定薬剤 治療管理料	EIA法	μg/mL 治療有効濃度 4.0~10.0		アミサリン ※02
		血漿0.4	19							
	2363 プロパフェノン 3L897-0000-023-205	血清0.3	1	冷蔵	4~6	特定薬剤 治療管理料	LC-MS/MS	ng/mL		プロパフェノン及び主代謝物である5-OHプロパフェノンの各定量値をご報告いたします。プロノン プロパフェノン ※02
	5407 メキシレチン 3L880-0000-023-205	血清0.3	1	冷蔵	4~6	特定薬剤 治療管理料	LC-MS/MS	μg/mL 治療有効濃度 0.5~2.0	経口：次回投与直前 (Trough濃度) 静注：随時	メキシチール メキシレチン ※02
	0168 ピルシカイニド 3L896-0000-023-205 3L896-0000-022-205	血清0.3	1	冷蔵	4~6	特定薬剤 治療管理料	LC-MS/MS	μg/mL 治療有効濃度 0.2~0.9	次回投与直前 (Trough濃度)	サンリズム ピルシカイニド ※02
		血漿0.3	19							
	1460 シベンゾリン 3L898-0000-023-205 3L898-0000-022-205	血清0.3	1	冷蔵	4~6	特定薬剤 治療管理料	LC-MS/MS	ng/mL Trough濃度 70~250	朝投与直前 (Trough濃度)	シベンノール シベンゾリン ※02
		血漿0.3	19							
	5238 フレカイニド 3L905-0000-023-205 3L905-0000-022-205	血清0.3	1	冷蔵	4~6	特定薬剤 治療管理料	LC-MS/MS	ng/mL 治療有効濃度 200~1000	次回投与直前 (Trough濃度)	タンボコール フレカイニド ※02
		血漿0.3	19							
	5055 ベプリジル 3L802-0000-022-205	血漿0.3	19	冷蔵 (21日)	4~6	特定薬剤 治療管理料	LC-MS/MS	ng/mL 250~800		ベプリコール ※02

特定薬剤治療管理料 (71ページ参照)

採血時刻についての注意事項

- 1 TDM (血中薬物濃度モニター) における採血時間です。
- 2 連続投与においては定常状態到達後、採血を行ってください。
- 3 中毒時はPeak濃度も測定する必要があります。
- 4 標準的な時間であり、患者状況にあわせて採血するのが望ましいと思われます。



項目 コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値 (単位)	採血時刻	備 考 (製品名、薬剤名等)
4602	ビルメノール 3L899-0000-022-204	血漿1.3	19	冷蔵	4~7	特定薬剤 治療管理料	HPLC法	ng/mL 治療有効濃度 400.0以上	随時	ビメノール ※02
1116	アブリンジン 3L855-0000-023-205 3L855-0000-022-205	血清0.3 血漿0.3	1 19	冷蔵	4~6	特定薬剤 治療管理料	LC-MS/MS	μg/mL 治療有効濃度 0.25~1.25	経口：次回投与直前 (Trough濃度) 投与後2~4時間 (Peak濃度) 静注：次回投与直前 (Trough濃度)	アスベノン アブリンジン ※02
4603	アミオダロン 3L800-0000-022-205	血漿0.3	19	冷蔵	4~6	特定薬剤 治療管理料	LC-MS/MS	ng/mL	次回投与直前 (Trough濃度)	アミオダロン 有効血中濃度： 500~1000ng/mL (200mg/日投与、 定常状態、トラフ値) Desethyl amiodarone/ Amiodarone=0.8 (定常状態)、 アンカロン ※02
5386	プロプラノロール 3L895-0000-023-204 3L895-0000-022-204	血清0.3 血漿0.3	1 19	冷蔵	5~18		HPLC法	ng/mL 治療有効濃度 50~100	次回投与直前 (Trough濃度)	インデラル プロプラノロール ※02

2579	ゲンタマイシン 3M606-0000-023-024	血清0.4	1	(分離後) 凍結	3~5	特定薬剤 治療管理料	EIA法	μg/mL Peak 15~20 Trough 1未満	点滴開始1時間後 (30分 で投与した場合、終了30 分後) (Peak濃度) 投与 前30分以内 (Trough濃度)	ゲンタシン ゲンタマイシン ※02
2578	トブラマイシン (ピーク値) 3M602-0000-023-024	血清0.4	1	(分離後) 凍結	3~5	特定薬剤 治療管理料	EIA法	μg/mL 治療有効濃度 15~20	点滴開始1時間後 (30 分で投与した場合、終了 30分後) (Peak濃度)	トブラシン トロービー
4857	トブラマイシン (トラフ値) 3M602-0000-023-024	血清0.4	1	(分離後) 凍結	3~5	特定薬剤 治療管理料	EIA法	μg/mL 治療有効濃度 1未満	投与前30分以内 (Trough濃度)	※02
2576	アミカシン 3M601-0000-023-062	血清0.4	1	(分離後) 凍結	3~5	特定薬剤 治療管理料	EIA法	μg/mL Peak 50~60 Trough 4未満	点滴開始1時間後 (30分 で投与した場合、終了30 分後) (Peak濃度) 投与 前30分以内 (Trough濃度)	アルベカシンとの 交差反応があるので ご注意ください。 アミカシン ※02
1426	アルベカシン 3M613-0000-023-062	血清0.3	1	(分離後) 凍結 (21日)	3~5	特定薬剤 治療管理料	ラテックス 凝集比濁法	μg/mL Peak 15~20 Trough 1~2未満	点滴開始1時間後 (30 分で投与した場合、 終了30分後) (Peak 濃度) 投与前30分以 内 (Trough濃度)	ハベカシン アルベカシン ※02
5482	バンコマイシン 3M530-0000-023-062	血清0.5	1	冷蔵	1~2	特定薬剤 治療管理料	ラテックス 凝集比濁法	μg/mL 未設定	投与前30分以内 (Trough濃度)	バンコマイシン
4796	バンコマイシン トラフ値 3M530-0000-023-062	血清0.5	1	冷蔵	1~2	特定薬剤 治療管理料	ラテックス 凝集比濁法	μg/mL Trough 10~15		
4797	バンコマイシン ピーク値 3M530-0000-023-062	血清0.5	1	冷蔵	1~2	特定薬剤 治療管理料	ラテックス 凝集比濁法	μg/mL 未設定	未設定	
4541	テイコブラニン 3M532-0000-023-062	血清0.3	1	冷蔵	3~5	特定薬剤 治療管理料	ラテックス 凝集比濁法	μg/mL Trough 15~30	投与前30分以内 (Trough濃度)	下記参照 タコシッド テイコブラニン ※02
4868	ポリコナゾール 3M698-0000-022-205	血漿0.3	19	冷蔵	4~6	特定薬剤 治療管理料	LC-MS/MS	μg/mL		ブイフェンド ポリコナゾール ※02

特定薬剤治療管理料 (71ページ参照)

採血時刻についての注意事項

- 1 TDM (血中薬物濃度モニター) における採血時間です。
- 2 連続投与においては定常状態到達後、採血を行ってください。
- 3 中毒時はPeak濃度も測定する必要があります。
- 4 標準的な時間であり、患者状況にあわせて採血するのが望ましいと思われます。

[4541] テイコブラニン検査について

医薬品添付文書には、「テイコブラニンのトラフレベルの血中濃度は、敗血症などの重症感染症においては確実な臨床効果を得るために10 μg/mL以上を保つこと。但し、トラフレベルの血中濃度が60 μg/mL以上になった場合には腎障害、聴覚障害等の副作用の発現に注意すること。またトラフレベルの血中濃度が20 μg/mL以上で一過性に肝機能検査値が軽度上昇したとの報告がある。(医薬品添付文書；2003年1月改訂第8版より)」の内容が記載されております。



項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値 (単位)	採血時刻	備 考 (製品名、薬剤名等)
その他の	5379 サリチル酸 (アスピリン、アセチルサリチル酸) 3M205-0000-023-271	血清0.4	1	冷蔵	3~5	特定薬剤 治療管理料	酵素法	μg/mL 抗炎症作用として 治療有効濃度 100~250	次回投与直前 (Trough濃度)	アスピリン バファリン ※02
	2229 シクロスポリン 3M805-0000-019-053	血液0.7 (EDTA・2K加) 単独検体	69	凍結	3~5	特定薬剤 治療管理料	ECLIA法	ng/mL		他の検査項目との 同時依頼はできま せんので注意く ださい。 サンディミュ ネオール シクロスポリン ※02
	4645 タクロリムス 3M810-0000-019-053	血液0.7 (EDTA・2K加) 単独検体	69	凍結	3~5	特定薬剤 治療管理料	ECLIA法	ng/mL		他の検査項目との 同時依頼はできま せんので注意く ださい。 プログラフ グラセプター タクロリムス ※02
	5453 メトトレキサート 3M725-0000-023-024 3M725-0000-022-024	血清0.5	1	冷蔵	3~5	特定薬剤 治療管理料	EIA法	μmol/L 危険限界濃度 24時間値 10以上 48時間値 1以上 72時間値 0.1以上	メトトレキサート・ロイコボリン 救援療法時 24,48,72時間	メトトレキサート リウマトレックス メトトレキサート ※02
		血漿0.5	19		3~5					
	2556 テオフィリン (テオフィリン、アミノフィリン水和物) 3M070-0000-023-062	血清0.5	1	冷蔵	1~2	特定薬剤 治療管理料	ラテックス凝集法	μg/mL 治療有効濃度 10~20	下記参照☆	テオフィリン テオロング テオドル ユニコン ユニフィル ネオフィリン アブニション アミノフィリン キョーフィリン

特定薬剤治療管理料 (71ページ参照)

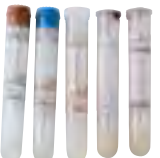
採血時刻についての注意事項

- 1 TDM (血中薬物濃度モニター) における採血時間です。
- 2 連続投与においては定常状態到達後、採血を行ってください。
- 3 中毒時はPeak濃度も測定する必要があります。
- 4 標準的な時間であり、患者状況にあわせて採血するのが望ましいと思われます。

☆経口：徐放性製剤では投与後4時間、裸錠では投与後2時間 (Peak濃度)、次回投与直前 (Trough濃度)
静注：投与後30分、点滴開始後4~6、および12~18時間

1

ブレイン容器



19

ヘパリン



69

EDTA-2K入り



特定薬剤治療管理料

- 特定薬剤治療管理料は、投与薬剤の血中濃度を測定し、その結果に基づき当該薬剤の投与量を精密に管理した場合、月1回に限り算定する。
- 同一の患者につき特定薬剤治療管理料を算定すべき測定及び計画的な治療管理を月2回以上行った場合においては、特定薬剤治療管理料は1回に限り算定することとし、第1回の測定及び計画的な治療管理を行ったときに算定する。
- 本管理料には、薬剤の血中濃度測定、当該血中濃度測定に係る採血及び測定結果に基づく投与量の管理に係る費用が含まれるものであり、1月のうちに2回以上血中濃度を測定した場合であっても、それに係る費用は別に算定できない。ただし、別の疾患に対して別の薬剤を投与した場合及び同一疾患について、同一の区分に該当しない薬剤を投与した場合はそれぞれ算定できる。
- 薬剤の血中濃度、治療計画の要点を診療録に添付又は記載する。
- 特殊な薬物血中濃度の測定及び計画的な治療管理のうち、特に本項を準用する必要があるものについては、その都度当局に内議し、最も近似する測定及び治療管理として準用が通知された算定方法により算定する。

薬物名（対象疾病）	検査項目（算定備考上の名称）	特定薬剤治療管理料		加 算 点
		1～3ヶ月	4ヶ月以降	
抗てんかん剤（てんかん）	フェノバルビタール、プリミドン、フェニトイン、カルバマゼピン、バルプロ酸、エトスクシミド、トリメタジオン、クロナゼパム、ニトラゼタム、ジアゼパム、ソニサミド、ガバペンチン、クロバザム、アセタゾラミド、レベチラセタム、ラモトリギン、トピラマート、スチリベンツール、ルフィナミド、ペランパネル、ラコサミド *1	単一薬剤 470点	単一薬剤 470点	280点 (初回月加算。薬剤を変更した場合は算定できない。)
ジギタリス製剤（心疾患）	ジゴキシン *1	複数薬剤 470点×2	複数薬剤 470点×2	
アミノ配糖体抗生物質（入院中）	ゲンタマイシン、トブラマイシン、アミカシン、アルベカシン	470点	235点	530点 (初回月加算。1回に限る)
グリコペプチド系抗生物質（入院中）	バンコマイシン テイコブラニン			
トリアゾール系抗真菌剤（①）（入院中）	ボリコナゾール			280点 (初回月加算。薬剤を変更した場合は算定できない。)
テオフィリン製剤（②）	テオフィリン			
不整脈用剤（不整脈）	キニジン、プロカインアミド、N-アセチルプロカインアミド、ジソピラミド、リドカイン、アブリンジン、ビルジカインド硫酸塩、プロパフェノン、メキシレチン、フレカイニド、シベンソリンコハク酸塩、ビルメノール、アミオダロン、ソタロール硫酸塩、ベプリジル硫酸塩			
ハロペリドール製剤 ブロムペリドール製剤(統合失調症)	ハロペリドール ブロムペリドール			
治療抵抗性統合失調症治療薬（統合失調症）	クロザピン			
リチウム製剤（躁うつ病）	リチウム			
バルプロ酸ナトリウム カルバマゼピン (躁うつ病または躁病)	バルプロ酸 カルバマゼピン			2740点 *4 (臓器移植を行った月から3月以内)
免疫抑制剤 (臓器移植後)	シクロスポリン タクロリムス水和物 ミコフェノール酸モフェチル *2 エベロリムス *3		470点	
免疫抑制剤（③）	シクロスポリン	235点	235点	280点 (初回月加算。薬剤を変更した場合は算定できない。)
免疫抑制剤（④）	タクロリムス水和物			
サリチル酸系製剤 (若年性関節リウマチ、リウマチ熱又は慢性関節リウマチ)	サリチル酸			
メトトレキサート（悪性腫瘍）	メトトレキサート			
バルプロ酸ナトリウム（片頭痛）	バルプロ酸			
イマチニブ	イマチニブ			
エベロリムス（結節性硬化症）	エベロリムス			
シロリムス製剤(リンパ脈管筋腫症)	シロリムス			
スニチニブ（腎細胞癌）	スニチニブ			

- ① 重症又は難治性真菌感染症又は造血幹細胞移植患者（深在性真菌症の予防を目的とするものに限る）
- ② 気管支喘息、喘息性（様）気管炎、慢性気管炎、肺気腫又は未熟児無呼吸発作
- ③ ペーセット病の患者であって活動性・難治性眼症状を有するもの又はその他の非感染性ぶどう膜炎（既存治療で効果不十分で、視力低下のおそれのある活動性の中間部又は後部の非感染性ぶどう膜炎に限る。）、再生不良性貧血、赤芽球癆、尋常性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症、関節症性乾癬、全身型重症筋無力症、アトピー性皮膚炎（既存治療で十分な効果が得られない患者に限る。）、ネフローゼ症候群若しくは川崎病の急性期
- ④ 全身型重症筋無力症、関節リウマチ、ループス腎炎、潰瘍性大腸炎又は間質性肺炎（多発性筋炎又は皮膚筋炎に合併するものに限る。)

- *1 ジギタリス製剤の急速飽和を行った場合又はてんかん重積状態の患者に対して、抗てんかん剤の注射等を行った場合は、所定点数にかかわらず、1回に限り740点を特定薬剤治療管理料として算定する。算定する場合にあっては、加算点280点を含め別に特定薬剤治療管理料は算定できない。
- *2 ミコフェノール酸モフェチルを投与している臓器移植後の患者であって、2種類以上の免疫抑制剤を投与されているものについて、医師が必要と認め、同一暦月に血中の複数の免疫抑制剤の濃度を測定し、その測定結果に基づき、個々の投与量を精密に管理した場合は、6月に1回に限り250点を所定点数に加算する。加算を算定する場合は、ミコフェノール酸モフェチルの血中濃度測定の必要性について診療報酬明細書の摘要欄に詳細を記載すること。
- *3 エベロリムスを投与している臓器移植後の患者であって、2種類以上の免疫抑制剤を投与されているものについて、医師が必要と認め、同一暦月に血中の複数の免疫抑制剤の濃度を測定し、その測定結果に基づき、個々の投与量を精密に管理した場合は、エベロリムスの初回投与を行った日の属する月を含め3月に限り月1回、4月目以降は4月に1回に限り250点を所定点数に加算する。加算を算定する場合は、エベロリムスの初回投与から3月の間に限り、当該薬剤の血中濃度測定の必要性について診療報酬明細書の摘要欄に詳細を記載すること。
- *4 2740点の加算を算定する場合には、*1、*2に規定する加算は算定できない。また、*1及び*2に規定する加算は同一月内に併せて算定できない。